



旭川に架かる神橋からは高瀬舟の発着場跡が眺められる

宿場町、勝山で町歩き

院庄ICから中国自動車道を使って一気に西へ。久世ICからまた国道181号を通り勝山へ向かう。途中から合流した旭川に沿って軽快に進む。中国勝山駅から北へ広がる勝山の町は、かつて出雲街道の宿場町や三浦氏の城下町として栄えた名残を色濃くとどめる。当時の上級武士の屋敷が唯一現存し、公開されている「武家屋敷館」をのぞき、暖簾の掛かる商家が続く勝山町並み保存地区」をぶらぶら歩いてみる。どつしりとした白壁やなまこ壁の町並みが風情を感じさせる。鳴門橋を渡ったほとりにカフェ



勝山

エ「てあ」を見つけて休憩。この店の一部はギャラリースペースになっていて、アート作品を鑑賞しながら、お茶ができるようになっていて。手作りケーキとドリンクをオーダーしてほっと一息。



質素儉約を旨とした当時の武士の生活が偲ばれる旧渡辺邸

●武家屋敷館

0867-443909 / 真庭市勝山
651 / 9時30分～16時30分 / 年末年始休 / 入館料200円

●CAFÉてあ

0867-445558 / 真庭市三田
51 / 11時30分～16時、18時～21時30分 / (L) / 木曜休



人気の自家製ケーキ(360円)とソーダファウンテン(400円)

200年以上の風雪に耐え当時の姿を今にとどめる(武家屋敷館)

檜西の手すき和紙に挑戦

町歩きを楽しんだ後は、再び「クラウン」に乗って国道181号を戻り、久世庁舎の信号で県道65号に左折し北へ。清流余川が流れる檜西では、昔から紙の原料となるミツマタの栽培がさかん。生産



ミツマタの皮を乾燥させ、ネリ材を加えた液の中ですけたですく。ハガキは一度で9枚作ることができる



紙すきの原料となるミツマタには黄色や白の小さな花が咲く

●檜西和紙工房
0867-424874 / 真庭市檜西1689
/ 9時～17時 / 不定休 / 手すき和紙体験
900円(送料別、1週間前までの予約制)

量は全国でもトップクラスを誇る。そのミツマタを使った手すき和紙作りが体験できる工房があるらしい。緑深くなってきた山間で、その工房を発見。いざ体験！紙をすく力加減が難しいけれど、先生に助けってもらってなかなかいい感じ。作品のハガキはこの後、乾燥させて1週間ほどで送っていただける。

大自然に囲まれた露天風呂でほっこり



小鳥の声をBGMに、周辺の山々を眺めながら入浴できる「東の湯露天風呂」

県道65号をさらに北へ走ると、知る人ぞ知る穴場の温泉「のとう温泉 天空の湯」がある。県内でもっとも標高の高い場所に湧く温泉だ。地元の檜や杉をふんだんに使った館内は、木の香りがあふれる。自慢の露天風呂は中山地の山々が目の前に広がって開放感たっぷり。湯に浸かっていると、じんわりと体の芯から温まってくる。

●のとう温泉 天空の湯

0867-572006 / 鏡野町富西谷2091-10 / 11時～19時30分(最終受付、7月以降時間変更あり) / 月曜休(祝日の場合は翌日、7月18日～8月末は無休) / 入浴料500円



湯は神経痛、筋肉痛などに効果があるとされるアルカリ性単純温泉。掛け流しを存分に楽しめる

津山から西へ北へと走ったドライブも気がつけばすっかり夕暮れ。伝統や史跡を改めてたどって、県北の魅力をとくさん再発見できた充実した一日になったと思う。

カルチャーコース

<コースA> 美咲町から鏡野町へ。緑豊かなまきばで高原レジャーを満喫して、生活に欠かせない原子力エネルギーを紹介する「かがくの森」で最先端の技術を学ぼう。

国道429号を北へと走り、旭川と分かれた通谷川沿いをさらに北へ。少しづつ山が深くなつていき新緑がまぶしい。休峠トンネルの前で左折し、細くなった道をどんどん上る。今日は小回りがきく「ポルテ」だから余裕でスイスイ。

大自然でリフレッシュ

しばらく走ると、ぼつと視界が開けて「まきばの館」に到着する。かわいい動物が放牧され、のどかな雰囲気。草花の甘い香りが、風につたえられてくる。新鮮な空気を思いっきり吸って、散歩していると、どんどんパワーがみなぎってくる。ストレッチを見つめ、思わず童心に戻って遊んだら、久しぶりに汗をかき、体もほかばか。

●まきばの館

0867・27・2346 / 美咲町北2272 / 8時30分〜17時(レストランは10時〜18時、1〜3月は11時〜16時) / 無休(レストランは9〜4月の月曜日、祝日の場合は翌日) / 入園無料



まきばの中央には食事ができるレストランがある



牧場では馬にエサをやったりウサギやヒヨコと遊んだりできる

次代に伝えたい文化を探しに

広々空間が自慢の「ポルテ」で颯爽と出かけよう！

ゆつくりと春の朝ねぼうを楽しんだら、気分も新たにドライブに出かけよう。半日でまわれる県北のおすすめ2コースを紹介。



道路からも見える「道の駅あまの里」の高さ7メートルもあるというカランダム

店名の「LITOFUN」は小さな泉という意味



とろりととろけるチーズが食欲をそそくランチ(1380円)のマルゲリータ

評判のイタリアンレストランでランチ

前から気になっていた、イタリアンレストランに向かうため、国道181号に出て、津山方面へ向かう。途中の「道の駅あまの里」で突如巨大はガンダムのロボットが目に見え込んでくる。近付くとかなりの迫力。記念に写真一枚パチリ。近未来にはこんなロボットが町を歩くのも夢じゃない？津山市内に入り、県道394号を走っていると、中国自動車道の手前にオレンジの建物がスタイリッシュな

トが町を歩くのも夢じゃない？津山市内に入り、県道394号を走っていると、中国自動車道の手前にオレンジの建物がスタイリッシュな

原子力開発の原点を学ぶ

院庄まで戻って、国道179号へ入る。奥津温泉を通り過ぎ、鳥取県との境に、昭和30年にウランが発見されて話題となった人形峠がある。ここにはウランや原子力発電について分かりやすく紹介している「人形峠かがくの森プラザ」がある。プラザは「アトムサイエンス館」「人形峠展示館」と2004年3月に完成した宇宙観測を行う「スペースガードセンター」と三つの展示館に分かれている。パネルや模型を使って説明してあるので、見ているだけでもおもしろい。

●人形峠かがくの森プラザ

0868・44・2211 / サイクル機構 / 鏡野町上斎原1550 / 9時〜16時 / 年末年始休 / 入館無料

「アトムサイエンス館」の展示場。日本にとつて欠かせないエネルギーとなつている原子力。その重要性を子どもから大人まで実際に見て実感できるように



最後はくつろぎの温泉へ

すっかり学んだ後は、体をほぐしたい。ということで、さき山道を上がったときに見えた温泉「クアガーデンのか」と行ってみる。豊富な湯を使った温泉にはゆつたりとした露天風呂の他にも、水着で入れる温水プールがある。さらさらとした湯は肌にやさしく、体を癒してくれる。

●クアガーデンのか

0868・44・2281 / 鏡野町上斎原4461 / 10時〜19時30分、プールは平日13時〜、日曜、祝日は17時30分(最終受付) / 第2木曜日、プールは毎週木曜日(G・W)と夏休み期間は無休 / 入浴料600円、プール600円



温泉は本格的な露天風呂にシャワーやパジャマなど4種類の内湯がある。温水プールも併設



自然の中で遊んで、おいしいものを食べて、学習して、温泉につかって、五感をフルに活用させた半日はあつという間。今日は心も体もとっても充実。

カルチャーコース

<コースB>
奈義から美作へ。土・日曜にドライブに出かけるなら、遙か昔の化石を集めた博物館を見て、週末と祝日だけ開いている「冒険の森」へ行ってみよう。新しく完成した作東ICを上手く使えば移動もスムーズ。

国道53号を那岐山の雄峰を眺めながら奈義町へ「ポルテ」でドライブ。奈義町役場から国道51号に入り、目指すは「なぎピカリアミュージアム」だ。

奈義で化石を発掘!?

奈義町の柿地区には1600万年前の地層が残り、今でも化石が発見されている。その地層と化石を展示したのがこのミュージアム。珍しい化石が展示してある他、敷地内には自分で掘って、化石探しができる場所がある。館内を見学した後、さっそく化石探しに挑戦。しばらく掘っていると、「あっ!」「ピカリアらしき化石を発見。出てきた化石は、博物館



化石が発見された当時の地層をそのまま生かし展示している

ピカリアはワニナの仲間です。すでに絶滅した骨質です。

のスタッフさんが鑑定してくれる。ドキドキの結果は、先端の部分が欠けていたけれど、本物のピカリア! 発見した化石は持つて帰れるので、いい記念になる。

●なぎピカリアミュージアム

0868-36-3977/奈義町柿1875/9時~17時/月曜、祝日の翌日年末年始休/入館料300円



施設の周辺では6月から7月頃にはホタルが舞う姿が見られる



化石探しは1時間じっくりさがして200円

珍しい美作牛を食べる

たくさん遊んだ後は、もりもりお昼ご飯をたべたい。美作IC近くの鎮守の森もうもう工房」は美作牛を味わうことができるレストラン。店内はそれぞれが独立



自家製の白みそを使ったタレをかけて焼く三豆祖もつ鍋(1890円)

クラウン・ポルテドライブ紀行



独立した34の個室はそれぞれ6~8名まで利用できる。40名まで入れるパーティールームもある

した個室になっていて、落ち着いて食事ができるのが嬉しい。オーダーはお店一押しのもつ鍋もうもう鍋に決定。出てきてびつくり! 鍋には、ぎょうしりと数かれた肉の下に、どつさりともやし隠れて小山になっている。焼くと少しポリウムダウンするが、それでもかなりの量だ。けれども、モヤシのシャキシャキとした食感と肉のやわらかさが絶妙で、ペロリと食べられる。

●鎮守の森もうもう工房レストラン
0868-727272/美作市豊国原182/11時~14時、17時~20時(LO)土・日曜は11時~20時/無休

森のなかにある素朴な遊園地

お昼ご飯の後は、美作ICから中国自動車道に乗り、2005年3月に開設されたばかりの作東ICで下りて「冒険の森」へ出発。作東ICを下りた後は、西に10分ほど走ると到着。公園のメインアトラクションはアドベンチャーコースター。325メートルの長さのすべり台をカートにのって滑り降りる乗り物だ。微妙なアナログさが迫力を生み、大人でも十分楽



園内にはイベント広場があり、野外コンサートなどが開催されていることもある

しめる。山の斜面を利用したアスレチックやケーブルカーは小さな子供に大人気。遊歩道のあちこちに動物のリアルな像が隠れているのを探すのもなかなか楽しい。

●冒険の森

0868-752595(開園時間外は0868-75-1111美作市作東総合支所業務1課観光係へ)/美作市江見833/10時~18時(4・9月は17時、10・11月は16時)/4月~11月の土・日曜、祝日のみ営業(8月は月曜のみ休)/入園料300円



美作ICから作東ICまでは8.2キロメートル、おまをらの道のりだ

帰りは夕暮れの町を眺めながら、ゆっくり走ろう。「ポルテ」には、プラズマクラスターイオンが付いていて、除菌効果のあるイオンを放出し、車内のイオンバランスを整えてくれるから、行楽帰りの渋滞に遭っても気分は快適だね。